

弘前

「サンキュー♡年賀」 はがきで心の交流を

朝陽小に菊枝香贈

弘前市の朝陽小学校区の3事業所が1日、日本郵便の「サンキュー♡年賀」（手紙教育用年賀）事業を通じ、同校に年賀はがき計540枚を寄贈した。弘前茂森町郵便局の乳



井隆秀局長と弘前本町郵便局の高木しのぶ局長らが同校を訪れ、代表児童に手渡した。写真。

同事業は、手紙による子どもたちの心の交流促進を目的に、郵便局が企画。児童生徒に地域の事業所が年賀はがきを提供する。同市では昨年度から取り組みがスタートした。

今回は沢田内科医院、アト木動産、弘前こぎん研究所が、宛名面に事業所名を印刷した年賀はがきを180枚ずつ提供。児童1人に計3枚が配られる。

受け取った6年生の對馬澤君（12）と赤平心陽さん（11）は「おばあちゃんに出さうかな」「今年はいっぱい書きたい」と喜んでいった。高木局長は「はがき1枚で気持ちが届く喜びを感じてもらえるといい」と話した。同事業を通じ、市内ではほかに、小沢小と三百小の児童にも地域の事業所から年賀はがきが贈られたという。

（太田佳希）

東奥日報社 令和2年12月7日掲載

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです